3月 ほけんだより

令和3年2月26日発行
軽野保育園

思い出でいっぱいとなった1年も締めくくりの時期となりました。4月の頃に比べ、心も体も大きく成長した子ども達。一緒にこの1年間を振り返り、4月から新たな気持ちでスタートを切れるように生活習慣の見直しをしましょう。

進級・就学を控えて気持ちが不安定になる時期です

新年度を控え、多くの子どもたちが、「１つ大きくなる」という喜びでいっぱいな時期です。ただ、なかには、大人の期待を過剰に受け止めて、気持ちが不安定になる子どももいます。

今までなかったのに、急に次のようなようすが見られたら、何かストレスを感じていることがないかどうか、注意してみてください。

●目をパチパチさせる
●せきばらいをする
●肩をぴくっと動かす
……など

渗出性中耳炎（しんしゅつせいちゅうじえん）とは、鼓膜の奥に液体が溜まる病気で、３～10歳に多く見られます。発熱や痛みがなく、聞こえにくいことが唯一の症状のため、発見が遅れる場合があります。耳の聞こえに異変があるようなら、早めに耳鼻科を受診しましょう

治療には時間がかかりますが、ほとんどの場合は治癒します。放置しておくと、入院手術が必要になることや、難聴が原因で心や言葉の発達にも影響するので、治療は根気よく続けましょう。

3月3日は耳の日

『わが子と話せる時間は　悲しいほど少ない』

これは、昔見た広告コピーの一文です。

この春、末っ子長男の息子が　進学のため家を出ることになったせいか、最近 この言葉を思い出す機会がよくあります。

これまでもう充分、共に過ごしてきた　向き合ってきた　と思える時間。けどやっぱり　あっという間の大切な時間だったなあと実感しています。

皆さんのように　小さなお子さんと過ごす毎日は慌ただしく、ふと立ち止まる余裕なんてないかもしれない。けれど　どうか　この言葉を心のどこかに留めていてもらいたい。そして、時々思い出してもらえたらなあ・・・と思っています。

来年度もお子さんとの大切な
時間がたくさんありますように

看護師　野﨑　幸子